

## 2 三 谷 地 区

東日本大震災を受け、地域ぐるみで子どもたちを守ろうという意識を高めるため、本年度の三谷地区青少年健全育成協議会のテーマを、「町ぐるみで守ろう、育てよう、すこやかな三谷っ子」とした。ふれあい活動の方向性を再検討する時期とも言われ続けてきたが、あえて今年も防災を中心に据えた活動とし、緊急時の対処法や、地域の連携をあらためて再確認する場として大きな意味があった。

### 1 健全育成協議会の準備会

- (1) 日 時 平成 23 年 5 月 8 日(日)  
13 : 30 ~ 15 : 30
- (2) 場 所 東部市民センター
- (3) 参加者 各区総代、地域補導員、主任児童委員、三谷祭保存会、民生委員、小中学校 PTA 役員、子ども会役員、学校関係者



### 2 青少年健全育成協議会

- (1) 日 時 平成 23 年 6 月 5 日(日) 10 : 00 ~ 12 : 00
- (2) 場 所 三谷中学校 体育館
- (3) 参加者 各区総代、市議会議員、民生委員、主任児童委員、地域補導員、保護司、少年補導委員、公民館長、更生保護女性会、高砂会、三谷祭保存会会長、各区保存会長、小中学校 PTA 役員、PTA 実行委員、子ども会役員、交通指導員、保育園園長、小中高等学校関係者

〔来賓〕 蒲郡市青少年センター所長 伊藤 政志 氏  
蒲郡警察署生活安全課少年係長 加藤 守雄 氏

#### (4) 内 容

市民憲章唱和 (三谷中学校 PTA 会長 石川 智広 氏)

開会のことば (総代会副会長 中野 亘 氏)

三谷地区青少年健全育成協議会規約および役員の承認

会長 西区総代 「清水孝人氏」 を承認

あいさつ

三谷地区青少年健全育成協議会会長 清水 孝人 氏

青少年センター所長 伊藤 政志 氏

蒲郡警察署生活安全課少年係長 加藤 守雄 氏

学校代表 三谷中学校長 高橋 茂 氏

小中高等学校の現状と生徒指導の取り組み

地域補導員の紹介と活動 地域補導班長 広浜 暢一 氏

## 本年度の活動

### テーマとねらい

テ ー マ 「町ぐるみで守ろう、育てよう、すこやかな三谷っ子」

重点目標 ・ 家庭・地域・学校・関係諸機関の連携を密にして、地域ぐるみで三谷地区の青少年を見守り、育てる活動を推進する。

・ 地域ふれあい活動を通して、地域の教育力を高める。

・ あいさつ運動や日常の声かけ活動を通して、青少年の健全育成と明るい地域社会を築く。

### 活動計画

- ・ あいさつ運動、防犯パトロールの展開
- ・ ふれあい活動の準備会・・・6月より地区ごとに開催
- ・ 地域ふれあい活動・・・6月～11月に内容を工夫して実施

### 各区分科会と全体報告

閉会のことば（主任児童委員 夏目 理江 氏）

今年も、昨年度同様、ふれあい活動について、各区単独で行うことになった。西区については天候不良のため、やむなく中止となったが、他の5区とも天候に恵まれ、盛況であった。各区とも、消防署の協力を得て、災害時の心構えや応急処置などを学んだ。震災の影響もあって、例年以上に参加者の意識は高く、署員の方々に積極的に質問をする姿が目立った。地域交流の場面では、恒例となったアトラクションもあれば、例年になく趣向を凝らした地区もあり、年代層を超えた歓声が会場に響いた。今後は、より多くの小学生の参加を期待したい。



あいさつ運動は、学校単位で合計16回計画され、PTAの役員さんを中心に行ったが、連絡が不徹底だったため、十分な人数が集まらなかった日もあった。緊急時に限らず、日常的に子どもたちを見守る姿勢を維持するためにも、今後の課題としたい。

### 3 ふれあい活動の計画と実際

区	日 時	場 所	活 動 内 容
東	11月20日(日)9:00～	若宮公園	消火・煙道訓練、綱引き、玉入れ等
松	8月6日(土)17:00～	弥生公園	心肺蘇生法、屋台、紙芝居、ビンゴ等
上	8月21日(日)8:00～	天伯公園・神社	消火・応急処置、濾過器、屋台等
中	6月19日(土)8:30～	三谷小学校	防災講話、紙飛行機大会、炊き出し等
北	11月27日(日)9:00～	三谷小学校	消火・ロープ・応急処置法、大声大会等
西	9月4日(日)9:30～	神明神社	心肺蘇生法、防災ビデオ・クイズ、屋台

#### 4 ふれあい活動の実際

### 東 区

日 時 11月20日(日)9:00~12:00  
会 場 若宮公園 【参加者】約100名  
内 容 防災訓練とふれあい活動

雨上がりで少々足場は悪かったが、予定通り日程を終えることができた。消火訓練や煙道訓練、消防署の方の指導のもと実際に動きながら体験することができた。今年は、ふれあい活動として、綱引き、玉入れ、ピンゴを行ったが、和やかな雰囲気の中で、お年寄りから幼児までが様々な種目で、楽しく過ごすことができた。中学生にとっては中間試験2日前だったが、適度な息抜きにもなったようだ。



### 松 区

日 時 8月6日(土)17:00~19:30  
会 場 弥生公園 【参加者】約220名  
内 容 防災訓練とふれあい活動

防災訓練では、消防署の方から応急処置法(心肺蘇生とAED)を学んだ。その後のふれあい活動では、中学生が中心となり、かき氷、コロッケ、フランクフルト、ジュースの屋台をみんなで楽しんだ。最後のピンゴ大会では会場が暗くなるまで明るい歓声が響いた。今年は、金沢ヒューマン文庫を守る会の皆さんによる、東海地震と昔話の手作り紙芝居が演じられ、その圧倒的な表現力は会場の注目を集めた。



### 上 区

日 時 8月21日(日)8:00~12:00  
会 場 天白神社・天伯公園 【参加者】約380名  
内 容 防災訓練とふれあい活動

防災訓練は、常会ごとの避難場所に集まり、その後天伯公園に集合して、浄水器・初期消火・AEDを使った心肺蘇生・応急手当を体験した。ふれあい活動は、ジュース、団子、スノーボール、ヨーヨーつりを、中学生が担当した。上区は毎年幅広い年齢層から400人近い参加者があるが、実行委員の方々による何日にもわたる周到な準備のおかげで、最後までスムーズに運営することができた。



## 中 区

日 時 6月19日(土) 8:30~11:30  
会 場 三谷小学校 【参加者】約150名  
テーマ 防災訓練・炊き出しとふれあい活動

避難経路確認のため、常会ごとの集会所から三谷小へ。東北の被災地に救援活動に行った消防署の方から聞いた話や現場写真は身に迫るものがあった。ふれあい活動では、防災クイズの後に行われた恒例の紙飛行機飛ばし大会では、父の日を控えたお父さんたちが腕を競った。今年は、地域の方による雅楽も披露され、バラエティに富んだ内容となった。最後の炊き出しカレーは、子どもたちにも大好評だった。



## 北 区

日 時 11月27日(日) 9:00~11:00  
会 場 三谷小学校 【参加人数】約200人  
テーマ 防災訓練とふれあい活動

防災訓練では、消防署の方の話を聞いた後、応急処置法(心肺蘇生とAED)を体験した。同時に体育館下駐車場では水消火器による初期消火訓練を行い、最後に安全で頑丈なロープの結び方を学び、普段できない貴重な体験をすることができた。今年のふれあい活動は、新たな試みとして騒音測定器を使った大声大会を行い、子どもから大人まで元気な声が体育館に響き渡り、みんなで楽しい時を過ごした。



## 西 区

日 時 9月4日(日) 9:30~12:00  
会 場 神明神社  
内 容 防災訓練とふれあい活動

悪天候のためやむを得ず中止となった。予定されていた活動は、救急救命講習、防災ビデオとクイズ。ふれあい活動としては、綿菓子とかき氷の屋台。

### ふれあい活動に参加して(中学生の声)

- ・人数が多くてびっくりしました。まだ一部だと思うけど、近所にこういう温かい人たちがいると思ったら、すごく安心感がありました。(山岡健悟)
- ・係の仕事は大変だったけど、中学生としていろいろ働くことができてよかった。来年はもっと大変だろうけどしっかり働きたい。(山口滉太)
- ・小学校の頃は、興味もなく参加していたけど、東北の地震があったので、今回は話をしっかり聞いて処置法を覚えようと思いました。(竹内芹奈)
- ・反省点は、ふれあい活動が終わった後に、大人の人や先生たちが片付けをしていたのに帰ってしまったことです。(竹内智也)
- ・地震の話を聞いて、自分の想像よりもはるかに恐ろしかったです。自分の命を守るのは自分だと改めて分かりました。(稲垣悠斗)